

高等教育ハンドブックシリーズ第①集

● 発行 2001年4月28日

● 体裁 B5判 160頁

好評発売中!

スタッフ研修 “ライブ” 記録集——

大学のセクハラ対策～相談・カウンセリング編

～エンパワーメントと二次セクハラ防止～

□ 卷頭言 加藤 寛氏 □

■ ジェンダーフリーキャンパスに向けて

- “ナイ” はずは “ナイ” からの出発
- 人権とは？ 暴力とは？ フェミニズムとは？
- セクハラの心理と行動—ジェンダー規範

■ カウンセリング手法と実践的体験学習

- 教職員・学生への研修・啓発として
　　ワークショップ、ロールプレイングの実際
- 相談員・相談窓口としての留意点

企画編集にあたって

本書は、千葉学園における「セクシュアル・ハラスメント対策に係る教職員スタッフ研修」のライブ報告書をもとに出版化したものである。第一線で活躍されている丹羽・松倉両氏を講師に迎え、防止対策委員、相談員及び事務局管理職延べ48人が参画され、ワークショップ・ロールプレイングを織り交ぜた実践的な研修を行った。キーパーソン各位の熱意と真摯な姿勢がひしひしと伝わってくる臨場感あふれる記録集となっている。

現在、キャンパスにおけるセクハラ対策は実際的な運用段階を迎え、学園各層への的確かつ具体的な研修・啓発活動が急務である。本書は、全国の関係各位に実践的なハンドブックとしてご活用いただけるものと思う。

刊行にあたり、千葉学園及び参加関係各位のご協力・ご高配に深謝する。

■ 出版協力 学校法人千葉学園セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会

● 執筆者プロフィール ●

(敬称略)

丹羽 雅代 (にわ まさよ)

フェミニスト・カウンセリング東京、東京ウィメンズプラザ

カウンセラー

1969年、奈良女子大学を卒業。以後、大阪府、東京都下で中学校、高等学校、養護学校などの教員として勤務。90年、東京女性財団東京ウィメンズプラザ(前身東京都女性情報センター)勤務。現在に至る。95年、アジア女性資料センター運営委員となる。ジェンダートレーニング研究会を発足し、ワークショップ開発に取り組み今日に至る。99年、フェミニスト・カウンセリング東京の立ち上げに参加。

主な著書は、『女6500人の証言』(共著)学陽書房、『性幻想

を語る』(共著)三一書房、『夫・恋人の暴力から自由になるために』(共著)現代書館。

松倉 ゆり (まつくら ゆり)

東京経済大学人権コーディネーター

1985年、津田塾大学英文科卒業。97年、東京経済大学人権コーディネーターとして現在に至る。

主な活動は、C A P・子どもへの暴力防止プログラムファシリテーターをつとめるほか、翻訳家としても活躍。

お申込み・お問合せ先



地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL. (03)3234-1231 FAX. (03)3234-4993

<キリトリ線>

申込書

年 月 日

ハンド①集	大学のセクハラ対策～相談・カウンセリング編	定価	4,900円(消費税、送料含)	冊
-------	-----------------------	----	-----------------	---

大学・官公庁

団体・企業名

所在地 〒

申込部課名

申込連絡者名

電話

FAX

E-mail

必要書類 [納品書 () 請求書 () 見積書 ()]

所定用紙 (同封下さい)

〔書店用〕

(取次・東京官書普及)

▶郵送又はFAXにてお申込み下さい。(送料は当会負担) ▶書店を通して購入される場合は、この案内書を書店へお持ち下さい。	
---	--

PART 1 相談・カウンセリングにおける留意点と実際 ～ジェンダーフリーの視点とエンパワーメント～

開催にあたって
はじめに

- なぜ今、女性の人权が問題になってきたのか
 - (1)ニューヨーク女性会議
 - (2)女性差別撤廃条約批准の経緯
- セクシュアル・ハラスメントはフェミニズム運動の中で発見され、再定義された事柄
- セクシュアル・ハラスメントの内実は、被害からの回復を訴えた女性によって形づくられてきた
 - (1)福岡セクシユアル・ハラスメント裁判
 - (2)“セクシュアル・ハラスメント”という言葉の原義
 - (3)最近のセクハラ裁判動向～秋田県A大学事件を例に
 - (4)セクシュアル・ハラスメントが被害者から奪うもの～信頼・人間関係・未来
 - (5)セクシュアル・ハラスメント問題を解決するとは～場の空気
 - (6)ワークショップ「セクシュアル・ハラスメントはなぜ起きるのだろうか」～具体例をもとに考えてみよう
 - (7)グループごとに発表
 - (8)最近のセクハラ問題の傾向～ケース分析を振り返りながら
 - (9)ロールプレイング～実際に相談を受ける
 - (1)ロールプレイングその1～例3をもとに
 - (2)ロールプレイングその2～例7をもとに
 - (3)大学として求められる姿勢～情報公開

[第1回研修会当日配布レジュメ]

[参考資料]

- セクシュアル・ハラスメントはなぜ起きるのだろうか～具体例をもとに考えてみよう
人事院規則10-10／人事院規則10-10の運用について(通知)
第1回セクシュアル・ハラスメント研修会参加者一覧

PART 2 コーディネーターとしての留意点と業務の実際

～東京経済大学での取り組みを踏まえて～
開催にあたって
はじめに

- ワークショップ「セクシュアル・ハラスメントと人権」
- ワークショップ参加にあたって
 - 1.ワークショップ参加にあたって
 - 2.暴力について考える

- (1)人権とは何？
- (2)暴力による人权侵害

4.セクシュアル・ハラスメントって何？

- (1)セクシュアル・ハラスメントの定義・タイプ
- (2)具体例
- 5.セクシュアル・ハラスメントを考える
 - (1)これまでに見聞きしたことのあるセクハラ行為
 - (2)セクシュアル・ハラスメントのボーダーライン
 - (3)ジェンダー規範
 - (4)ジェンダーワークその1～ミスター・コンについて
 - (5)ジェンダーワークその2～男らしさ・女らしさについて
- 6.セクシュアル・ハラスメントの原因
 - (1)コミュニケーションについて
 - (2)力関係
 - (3)ジェンダー規範
 - (4)ミュニケーションについて
- 7.セクシュアル・ハラスメントや性被害はどれくらい起っている？
 - (1)調査からみえてくるもの
 - (2)男子の性被害
- 8.性暴力にまつわる神話
 - (1)相談員としての留意点
 - (2)性暴力に関わるということ
 - (3)偏見と先入観
 - (4)性暴力被害に気づく
 - (5)相談員の自分自身への信頼感
 - (6)相談をする際の留意点
 - (7)相談をした後の危機
 - (8)支援をする際の留意点
 - (9)相談者による自己決定
 - (10)援助者のケアと支え合い
- III.相談時の留意点
 - (1)相談内容について確認しておくこと
 - (2)暴力が人に及ぼす影響
 - (3)「話してくれてありがとう」～相談者を支える一言
 - (4)性暴力被害に気づく
 - (5)暴力による信頼感の欠損
 - (6)相談員の自分自身への信頼感
 - (7)相談をした後の危機
 - (8)支援をする際の留意点
 - (9)相談者による自己決定
 - (10)援助者のケアと支え合い
- IV.相談窓口としての要件
 - (1)相談窓口としての要件
 - [第2回研修会当日配布レジュメ]
 - [参考資料]

ワークショップ「セクシュアル・ハラスメントと人権」

セクシュアル・ハラスメントの被害に遭ったら～外部の相談機関

東京経済大学人権委員会ケース記録

セクシュアル・ハラスメント裁判に関する参考条文

第2回セクシュアル・ハラスメント研修会参加者一覧

[研修会アンケート結果集計]

資料編

- (学)千葉学園セクシュアル・ハラスメント防止対策についてのガイドライン／手引き
- 2.東京経済大学セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン／人権キャンパスパンフレット
- 3.労働省改正男女雇用機会均等法指針
- 4.文部省セクシュアル・ハラスメント防止規程及び同運用通知